

相模原事件を考えるシンポジウム

～あの事件から1年 私たちは、どう受け止めたのか？～

昨年7月26日、神奈川県相模原市の障がい者施設「津久井やまゆり園」にて入所者19名が亡くなり、職員を含む26名が負傷するという悲惨な事件が起きました。

犯人は、元施設職員でした。なぜ？そういう思想に至ってしまったのか？

単に、精神を病んだ犯人が起こしてしまった事件としてかたづけられてはいけない、もっと複雑でたくさん問題があり、整理して考えていく必要があると思います。

『最重度の障がいを持つ方も地域の中で安心して生きていける社会』を願って、みなさんと一緒に考えていきましょう、

♥日時 7月29日(土) 13時30分～16時

♥場所 大分市ホルトホール 3階 302、303会議室

♥内容 ①事件の説明 廣野俊輔氏

② -当事者としてどう受け止めたのか？-

●宮西君代 重度脳性マヒ者の存在と地域との関わりについて

●湯沢純一氏 視覚障がいを持つ立場で

③ パネルディスカッション

コーディネーター 平野互氏

パネラー 徳田靖之氏 寄村仁子氏 宮西君代氏 阿部哲三氏

♥主催 だれもが安心して暮らせる大分県をつくる会

大分県障がいフォーラム実行委員会

♥問い合わせ先 在宅障害者支援ネットワーク

TEL・FAX 097-513-2313

E-mail zaitaku@elf.coara.or.jp

